資料３

評価書目次（案）新旧対照表

新	旧
要約	要約
Ⅰ．背景	Ⅰ．背景
１．はじめに	１．はじめに
２．諮問の背景	２．諮問の背景
３．諮問事項	３．諮問事項
Ⅱ．評価の考え方	Ⅱ．評価の考え方
１．国内 BSE 対策の見直しに係る食品安全委員会における過去の評価	１．国内 BSE 対策の見直しに係る過去の評価
２．SRM の範囲の見直しに係る評価の基本的考え方	２．SRM の範囲の見直しに係る評価の考え方
３．留意すべき事項	
（１）人への健康影響	
（２）非定型 BSE への対応	
Ⅲ．評価の前提	Ⅲ．評価の前提
１．BSE の現状	１．BSE の現状
（１）世界の BSE 発生頭数の推移	（１）世界の BSE 発生頭数の推移
（２）非定型 BSE の発生状況	
①日本における発生状況	
②EU における発生状況	
（３）各国の BSE 検査体制	（２）各国の BSE 検査体制
（４）各国の特定危険部位（SRM）	（３）各国の特定危険部位（SRM）

（５）各国の飼料規制	（４）各国の飼料規制
	（５）変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）について
２．日本における BSE 対策	２．日本における BSE 対策
（１）「生体牛のリスク」に係る措置	（１）「生体牛のリスク」に係る措置
①生体牛、肉骨粉等の輸入	①生体牛、肉骨粉等の輸入
②飼料規制	②飼料規制
③SRM の処理及び利用実態	③SRM の処理
④レンダリング事業場・飼料製造事業所の交差汚染防止対策	④レンダリング施設・飼料工場の交差汚染防止対策
⑤レンダリング事業場・飼料製造事業場等の監視体制と遵守状況	
⑥BSE サーベイランスの概要	⑤BSE サーベイランスの概要
⑦BSE 発生状況	⑥BSE 発生状況
⑧その他	
（２）「食肉処理に関連したリスク」に係る措置	（２）食肉処理に関連したリスクに係る措置
①SRM の除去	①SRM の除去
②と畜処理の各プロセス	②と畜処理の各プロセス
	③と畜場、食肉処理場の交差汚染防止対策
（３）その他	
①機械的回収肉（Mechanically Recovered Meat:MRM）	
②トレーサビリティ	
③と畜場及びと畜頭数	
３．BSE とヒトのプリオン病	

（１）CJD サーベイランス （２）vCJD について ①世界の vCJD 発生状況 ②vCJD の感染に対する遺伝的特性 ４．まとめ （１）「生体牛のリスク」に係る措置 （２）「食肉処理に関連したリスク」に係る措置 Ⅳ．PrP^{Sc}の分布（蓄積部位）に関する知見 １．定型 BSE 感染牛の体内におけるPrP^{Sc}の分布 （１）定型 BSE プリオンの経口投与量と潜伏期間及び発症率の関係 （２）定型 BSE プリオンの経口投与量と中枢神経系でPrP^{Sc}が検出されるようになる時期の関係 （３）定型 BSE プリオンの経口投与実験による潜伏期間及び摂取量の推計 （４）定型 BSE 感染牛の末梢神経、骨格筋における BSE プリオンの存在 （５）定型 BSE 感染牛の腸管における BSE プリオンの存在 ２．非定型 BSE 感染牛におけるPrP^{Sc}の体内分布 （１）非定型 BSE 感染牛におけるPrP^{Sc}の蓄積について ①食品安全委員会における過去の評価 ②主に 2019 年評価以降に報告された非定型 BSE 感染牛におけるPrP^{Sc}体内分布に係る知見	

３．まとめ	
Ⅴ．評価に係る知見の概要（ハザードの特性評価）	Ⅳ．評価に係る知見の概要（ハザードの特性評価）
１．非定型 BSE について	１．非定型 BSE について（発生状況、発生頻度）
（１）非定型 BSE の発生頻度	
（２）実験動物における伝達実験	
①非定型 BSE プリオンの牛及び実験動物に対する感受性	
②非定型 BSE プリオンの人への感染性	
２．脊柱について	２．脊柱（背根神経節：DRG）について（感染価、諸外国における状況）
３．非定型 BSE の人への感染リスク	３．非定型 BSE の人への感染リスク（人獣共通感染症の可能性、疫学情報）
４．用量反応（Dose-Response）	４．用量反応（Dose-Response）
Ⅵ．ばく露状況	Ⅴ．ばく露状況
１．脊柱の利用について	
２．人へのばく露について	
３．脊柱の利用実態について	
４．脊柱の流通量について	
５．まとめ	
Ⅶ．リスクの判定	Ⅵ．リスクの判定
Ⅷ．食品健康影響評価	Ⅶ．食品健康影響評価
	１．BSE の現状及び日本における BSE 対策
	２．非定型 BSE に由来する人への感染リスクに係る知見
	３．ばく露状況

＜参照＞	４．まとめ